

## 日本発トスカーナ便り：標識に夢中！

以前のトスカーナ便りでお届けした、フィレンツェで見つけたこんな道路標識のこと、覚えている方もいらっしゃるかもしれません。



まあ要はイタズラというか落書きなんですけど、私は結構気に入ってしまいました。

で、久々にフィレンツェにゆっくり滞在する機会があったのですが、心のどこかで、「またあんな標識見つかるかな？」と期待していたのです。 …して、その結果は？



絵柄のヴァリエーションも増えてさらに進化した感じで、大満足でした。

日本でもドイツでも、この発想はないよなあ…。と善い悪いを越えて、感心するばかりです。

もちろん、同じ絵柄のものもあるし、そもそも、そこら中の交通標識全てがイタズラされているわけではないので、時間がもっとあれば、カメラ持って街じゅう歩き回って写真撮りまくりたい気分でした。(で、カメラを持っていない時に限って、新種に出会ったりしてちょっと悔しい思いをするわけです。) …って、私何しにフィレンツェに来たんでしょうね？ニッチ狙いで、道路標識写真家にでもなりますかね？☺

なかなか上手いなあ。と思うものも多かったのも、もしかして、「道路標識アーティスト」を名乗る人とかいるのかもしれないね。でもやっぱり見つかったら罰金ですかね？

それよりも、一日中あれだけ観光客だらけの街中で、いつ作業しているんでしょう？

さすがは、全体が「美術館のような」街、フィレンツェ。

落書きでも一瞬「もしかしてアート？」思ってしまうような街。なんだか色んな意味で感心です。



これは標識ではないですが、ちょっと気に入った自転車を使ったオブジェ。この建物が一般の住宅なのかホテルなのかは不明でしたが…

街中の至る所にある美術館・博物館に歴史的建物や教会だけではなく、(不審者と思われない程度に) キョロキョロしながら街を歩いているだけで、あちらこちらでアートやら面白いものにぶつかる街。

何回行ってもやっぱり大好きなフレンツェでした。☺